



シャトルバス

川内駅



川内港ターミナル



K-LINER 客室



桟橋



K-LINER



カノック

工業デザイナー 水戸岡鋭治氏のデザインをぜひ、お楽しみください

「10」にまつわるエピソード、「10年目のありがとう」など、「10」をキーワードに皆さまからのご投稿をお待ちしています。  
ぜひ、お寄せください。

- ◆「恐竜絵本と化石 大島英太郎の原画と甌島の化石」展  
7月31日(木)～8月31日(日)
- ◆かみこしき夏祭り  
7月27日(日)
- ◆新消防庁舎落成式典  
7月26日(土)
- ◆とうとう夏まつり納涼大会  
7月25日(金)
- ◆エコプロジェクト「海辺の学校」  
7月19日(土)・20日(日)
- ◆第19回トンボロ芸術村作品募集  
7月1日(火)～9月30日(火)
- ◆地域対抗バレーボール大会  
7月13日(日)
- ◆川内駅おもてなし事業  
7月19日(土)

10周年を祝い、さまざまな記念事業を計画しています。  
10月11日の記念式典をはじめ、各種イベントも工夫を凝らしています。ぜひ、市ホームページのイベントカレンダーなどをご覧ください。

主な7月のイベント



祝 薩摩川内市市制施行10周年

【問合せ先】本庁総務課 ④(23)5111(内線4531)

平成16年10月12日に、川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甌村、下甌村、鹿島村の1市4町4村が合併し、薩摩川内市が誕生しました。

ここには、東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとする緑豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甌島、各地の温泉などがあります。これらの多種多様な自然環境を有する、魅力あふれる薩摩川内市は、今年、10回目の誕生日を迎えます。

平成16年3月に新幹線が開通し、10年の時を経て、今年、川内港ターミナルから高速船甌島(愛称:K-LINER)が就航しました。そして、川内駅からは、シャトルバス(愛称:こしきバス)が川内港ターミナルまでを結びます。

次世代エネルギーを活用したまちづくり

Vol.8

今回は、平成26年4月2日に高速船甌島(愛称:K-LINER)と合わせて運行を開始した電気バスについて、皆さんにご紹介します。

本市では、川内駅と川内港ターミナル間を走行するシャトルバスとして、電気バス(愛称:こしきバス)を運行しています。高速船甌島利用者の利便性向上を図り、川内駅と川内港・甌島にかけての観光スタイルの創出と育成を目的に導入されました。

どんなバスなんだろう?



熱男さん

◇電気バスの特徴

往復約28kmの距離を1日4回、電気の力だけで走り、CO2や排ガスゼロ・低騒音と快適な走行を実現しています。

電気バスの車両寸法は長さ11.065m、幅2.495m、高さ3.475mで、重量約11tの全国初となる大型ノンステップ(低床)路線電気バスです。ノンステップのため車内への乗り降りは楽で、広々ゆったりとした車内で外の景色を楽しめます。



電気バス「こしきバス」

【メーカー】=三菱重工業㈱  
【乗車定員】=68人  
【充電時間】=最長約1時間で満充電(専用急速充電器使用時)  
\*車内空調などの利用状況、道路・交通事情で変動します。  
【最高車速】=時速85km(公表値)

デザインは工業デザイナー 水戸岡鋭治氏

◇電気バスの仕組み

天井部分に約93kWhの高性能リチウムイオン二次電池を搭載するとともに、車両本体の一部にカーボンファイバーを使用して軽量化を図り、走行可能距離を飛躍的に向上させています。甌島に導入されているEV(電気自動車)6台分の蓄電池が搭載されています。

蓄電池の電力を利用し、駆動用モーターを動かすことで走行しています。

静かで、環境にいいだね!

電気の力だけで走るのね!



ひかりちゃん 風太くん 水枝さん

通常のEVよりも大きなモーターを使用することで、大きな車体で多くの乗客を乗せて走ることができます。また、減速時にはモーターが発電機として働き、走行中の運動エネルギーを電気に変換、蓄電池に充電を行うことでエネルギーを無駄なく使えます。夏場のエアコンや冬場のヒーターももちろん電気で動いています。

◇災害時の電源利用

災害時には、現場に駆けつけて蓄電池の電力を「非常用電源」として活用できます。例えば携帯電話(1台15W)の場合では約70台に最大約39時間の充電が可能です。

◇電気バスの料金

運賃は100円(小学生以下、障害者手帳などを持参の方、または運転免許自主返納カードなど提示者は50円)です。

◇電気バス運行の問い合わせ先

- ▼南国交通(株)川内営業所  
④(23)8400
- ▼本庁商工振興課  
④(23)5111(内線4322)

◇今月の用語集

※1 リチウムイオン二次電池  
正極と負極の間をリチウムイオンが移動することで充電や放電を行う二次電池です。①高いエネルギー密度、②高い充放電効率、③急速充電可能、④メンテナンス不要、などの特徴があります。EVや蓄電設備身近な所ではノートPCや携帯電話にも数多く使用されています。

【問合せ先】=本庁 新エネルギー対策課 新エネルギー対策グループ ④(23)5111(内線5521、5522)